

## 「平成24年度高校生未来創造支援事業高校生国外派遣交流事業」報告

教諭 釜田 博一

1 趣 旨 本県の高中生と教員を優れた教育実践を行い実績のある国外の学校へ派遣し、自己啓発や学習への

動機付けを図るとともに、教員の指導力向上を目指す。

2 主 催 秋田県教育委員会

3 交流の概要

(1) 交流先 ソウル高校（ソウル特別市）

(2) 期 間 平成24年12月20日（木）～24日（月） 4泊5日

(3) 日 程 12月20日（木）秋田空港出発

12月21日（金）～22日（土）

ソウル高等学校訪問（課題研究発表および交流会）、  
ホームステイ、ソウル市内見学

12月23日（日）ソウル市内見学、研修

12月24日（月）帰秋

(4) 参加生徒 大館鳳鳴8名 能代6名 秋田6名 横手5名 湯沢5名 計30名

(5) 引率者 団 長 白山 雅彦 教育次長

副団長 真壁 聡子 主 幹

総 務 藤澤 修 指導主事

通 訳 李 裕珍 国際交流員

引 率 金野 寛之 大館鳳鳴高校

〃 成田 司 能代高校

〃 石見 進 秋田高校

〃 藤本 亮 横手高校

〃 釜田 博一 湯沢高校

4 感 想

ソウル高校の先生方、生徒たちの熱烈な歓迎で幕を開けた交流であった。21日は午前中に日本の生徒たちのプレゼンテーションを行った。それぞれ、11月の合同研修会からさらに発表内容に磨きをかけ、すばらしい発表を行うことができた。しかし、午後からのソウル高校のプレゼンテーションはさらに上に行くものであった。内容もさることながら、伝える技術と英語力はすばらしいものであった。秋田の生徒たちは大いに刺激を受けたようである。その後、ホームステイ先のパートナーと会い、ホームステイ先へと移動した。心配していたホームステイであったが、生徒たちもすぐにパートナーと打ち解け、充実した交流の場となったようである。韓国に来ることができて本当に良かった、この経験をクラスみんなに早く伝えたい、と生徒たちが口にしていたことが印象的であった。

今回の交流では、ソウル高校の職員の方々そして受け入れ先の家族の方々がとても親切にして下さり、生徒共々感激しきりの5日間であった。韓国にはぜひとも再訪してみたいと思っている。